

令和 5 年度(2023 年度)第 1 回 豊中市保健医療審議会 議事録

1. 日 時 令和 5 年 7 月 21 日 (金) 10 時 00 分～12 時 00 分

2. 場 所 第一庁舎大会議室 (オンライン併用会議)

3. 案 件

- (1) 保健事業 R4 年度事業実施並びに R5 年度事業実施予定 報告
- (2) 健康づくり・食育推進計画骨子案 報告
- (3) 地域医療推進部会員 人選
- (4) その他計画 報告

4. 出席者 (敬称略)

(1) 委員 (名簿順) : 10 名

委 員	横山 美江	(大阪公立大学)
	内藤 義彦	(武庫川女子大学)
	林 宏一	(武庫川女子大学)
	西田 千佐	((一社) 大阪府助産師会)
	近藤 篤	((一社) 豊中市歯科医師会)
	今井 誠	((社福) 豊中市社会福祉協議会)
	坂本 勇二郎	(豊中市病院連絡協議会)
	小池 由久	(豊中商工会議所)
	古川 悦子	(豊中市健康づくり推進員会)
	松本 麻梨恵	(市民委員)

(2) 傍聴者 : 0 名

議事概要

○開会 10時00分

■審議会の成立要件の確認

委員数 12 名のうち、10 名出席により成立。

■案件（１） R4 年度事業実施報告と R5 年度事業実施予定

【事務局（各課長）から各課事業について、資料 1 を用いて説明。】

【質疑応答】 10：30～

委員	災害時の医療救護について病院もメンバーに入れるべきでは。
事務局	応急救護は市、三師会及び医療保健センターの連携体制で行っているが、災害医療の作業部会については豊中市病院連絡協議会、市立豊中病院がメンバーに入っている。
委員	デジタルガバメントについてより具体的に説明を。
事務局	健康教育講座や健康相談については市民から予約をし、オンライン形式で行っている。
委員	伴走型相談支援の側面からも、より広範囲かつ高い頻度で市民に寄り添える施策を期待している。
事務局	医療 DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進していくことはもちろん、市民のニーズにより LINE やメールによる支援も行っており、様々なツールに対応しながら進めていく。
委員	ここサポプロジェクトについて詳しく説明してほしい。
事務局	職員向けにメンタルケア研修を行う事業で、いくつかの段階に分けて実施しており、自分自身の心や目の前の人の気持ちに寄り添うことにも力を入れている。入門編は動画視聴によるもので、今年度は市民向けに YouTube への公開めざしている。初級編や中級編などは対面による研修で相手の気持ちを引き出す技法など、より専門的なことを学ぶものとなっている。
委員	ここサポプロジェクトの受講率が 8 割とかなり高い割合となっているが、どのように進めていったのか。また、今後はどのような目標を持っているのか。
事務局	人事課の協力もあり、豊中市職員が毎年受講している人権研修のメニュー

	として取り入れたことが大きいと考えており、入門編を受けた職員が初級・中級を受講する契機にもなった。 また、市民や事業者の参加も見据えて４年間で１万人をめざしているが、目標値以上により多くの人に受講してもらいたいと考えている。
委員	子育て世代にとって現在は妊産婦前後の施策が充実してきており、そのこと自体は非常によいことではあるが、子育ては１０年２０年と続いていくものであり、その点を見すえた施策は考えられているのか。
事務局	豊中市では母子保健分野と児童福祉分野を統合したはぐくみセンターが周辺自治体に先駆けて組織されており、最も重点的に対策しているポイントとなっている。本審議会では母子保健分野が対象となるため事務局からの報告では一部しか入っていないが、こども未来部のこども審議会などでは子育て支援について十分議論されているので、そちらの議事録等も参考いただきたい。
委員	先ほどの質問に関連して出生数が大幅に減少していることに関してどのように分析しているのか。
事務局	全国的に減少傾向が続いており、新型コロナウイルス感染拡大の影響だけが原因とはいえない状況となっているが、豊中市の出生率は他市と比較して高い水準を維持している。母子保健分野で不妊治療が保険適用となり市独自に不妊検査を含む不妊治療助成を開始する等、市としてできることは今後も迅速に実施する。

■案件（２） 健康づくり・食育推進計画骨子案 報告

【事務局から、資料３を用いて説明。】

【質疑応答】 １１：１０～

委員	幼児・児童を含む若年層の低体重に対する取り組みや分野別取組の記載内容に幼少年期の記載が多く見られることから、学校保健との連携が不可欠と考えるが、この点への考慮はあるのか。
事務局	計画策定にあたっては推進会議や実務担当者会議で作業を進めることとなっており、その構成員として学務保健課や学校給食課が入っていることから、十分な意見交換を行いながら進めていく予定。
委員	二ノ切公園では地域住民が自主的に毎朝ラジオ体操を行っている。運動としての効果はもちろん地域の交流にも寄与するような取組みと考えるが、このような自主的な取組みを広げていくという考えはないか。

事務局	公園みどり推進課でもイベントの集客に苦労しているということを聞いており、互いに連携して進められるものがないか検討する。
委員	P T Aがない学校や自治会がない地域が増えてきている。地域の交流の機会を増やすという視点での施策も検討してほしい。
委員	現在孤独感というものがアメリカでも大きな課題とされているなかで、骨子案でも「人と人とのつながり」を重視して市民活動の活発化を目指してほしい。

■案件（３） 地域医療推進部会 部会長及び委員選任

【事務局から、資料５を用いて説明。】

【質疑応答】 11：25～

（質疑なし）

■案件（４） その他計画 報告

【事務局から説明。】

【質疑応答】 11：30～

委員	全体に関する質問になるが、機構改革があり大きく課の構成が変更になっているが、置き去りにされた事業などはないと言えるのか。
事務局	今回の機構改革は縦割りにならないようにといった観点もあり、大きく変更されているが、十分に精査されており、どこにもはまらなかった事業はない。また、コロナ禍での対応で相互に連携しあう土台ができたのではないと考えている。

■その他

事務局	今年度の審議会は本日を含め４回開催予定で、次回は１０月頃を予定している。そこでは健康づくり・食育推進計画の素案を諮問し、１２月でその答申をいただく予定。 案件４でご案内した計画については意見募集を行うので、その中で意見してもらえればと考えている。
-----	---

○閉会 １１時４０分